

令和6年度 上田市立川西小学校 自己評価 (後期)

学校教育目標	めざす子どもの姿				総合評価				
自ら考え ともに高め合い かがやく子	①進んで体を鍛え、明るく、元気よく活動する子（体） ②自らねばり強く考え、課題を解決しようとする子（知） ③笑顔とあいさつを大切に、友だちと協力し合える子（情） ④自分で考え、進んで物事に取り組む子（意）				子どもたちの生き生きとした姿は多かったと思う。学年を超えた仲の良さや関りがあるのも良い姿だと思う。校内を歩くと落ち着いて明るい雰囲気が感じられます。掲示物等からものびのびと表現している姿が見られます。自分から挨拶するときは元気に挨拶できているが、こちらが挨拶をしても返ってこないことも多い。自らできる、返せる児童を目指して、さらに意識を高めていきたい。				
	今年度の重点目標 【 自分を超える 】				A	B	C	D	学校関係者からのご意見
	①	「主体的・対話的で深い学び」の実現				○			前に出て自分の考えや意見を発表できる人が増えてきている。自分が得意なことを、自信をもって語ることができる児童が増えた。「じぶこえ」「自主学习」は低学年には難しいが、子どもたちの意識に言葉が浸透してきたので継続していくことが望ましい。
	②	「探究的な学習」の充実					○		あきらめずに考える様子が増えた。単元テストにじっくり取り組むことはもちろん、全国学力学習状況調査やCRTテストなどへ、空欄回答が少なくなっている。自ら課題を見つけていく力は引き続き育む場を設定していきたい。
	③	通常学級における特別支援教育の充実				○			各授業を進める際に、端的な指示、順序の提示など、より分かりやすくなる工夫を意識していく。児童の発達段階に合わせて指示の言葉や「さん」づけ等、教師の人権感覚も磨きながら的確、適切な声がけにも配慮していきたい。

領域		対象	評価項目		評価の観点		評価方法		A	B	C	D	学校関係者からのご意見	
			楽しい学校づくり		児童一人ひとりが、「できた」「わかった」「楽しい」「うれしい」と実感できる学校になっているか。		アイウエオ		○				1年生の算数授業では足し算・引き算の学習を見た。早くできた児童がまだ終わっていない児童に教えている姿からお互いを思いやる気持ちが育っていると感じた。先生も丁寧に机間指導をしており、児童の理解力向上につながっていると感じた。短時間の参観ではあるが、どの子も一生懸命授業に取り組んでいると感じました。	
教育活動	体力向上	運動への取り組み		体幹トレーニング、コーディネーション運動など、継続的に運動への取り組みができているか。		アイウエ			○				冬は校庭で走ったり、大縄で遊んだり外で活動することが増えた。毎日校庭や体育館で多くの児童が遊んでいますし、職員もできる限り関わるようにしています。	
		規則正しい生活リズムの構築		「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」を意識した生活ができるよう、継続した指導を行っているか。		アイウエ			○				朝の登校が安定してきているように思う。今後は児童が生活リズムを調えるよさを児童自身が実感できる場を設定したい。専門の方から話を聞いたり、視覚的にも理解できる情報提供をしたりするよう工夫していきたい。	
	学力向上	「主体的・対話的で深い学び」の実現		児童が学びの主（主人公）になっているか。		アイウエオ		○					3年生の理科の授業「豆電球にあかりをつけよう」を参観した。先生の問いに対して多くの児童が積極的に、元気よく「はい」と手を挙げ全員集中して楽しく学んでいた。話し合う活動、発表し合う場面は、自分の考えを確認することや自信につながるよい機会だと考えます。今後も意図的に位置付けていってほしいと思います。自分の課題に向かってじっくり取り組んでいる姿が見られました。	
				自由進度学習やICT機器の利活用など、未来に生きて働く力を育む教育手法を取り入れているか。		アイウエオ		○					クロームブックでの授業は定着している。さらなる向上をお願いしたい。4年生が見学してきたことを新聞にまとめているのを見て、わかりやすさとレイアウトのよさに感心させられました。手書きのよさもありますが、形式を整えるよさや作りやすさなど、ソフトに助けられる子も多いと思います。	
		「探究的な学習」の充実		地域に学ぶ学習や課題解決力を高める学習が実践されているか		アイウエオ		○					年間行事の中で遠足、田植えからの米作り、川遊び等地域で自然と触れ合う場所での学習を取り入れている。この地域は豊かな自然環境に恵まれている。自然の中で学びや触れ合いの機会をこれからも積極的に取り入れてもらいたい。	
	教情育操	居心地のよい学級づくり		児童が自己肯定感を持ち、安心して生活するための取り組みを進めているか。		アイウエ				○			「学校が楽しい」という評価項目に否定的なとらえをしている様子が見られるので改善していきたい。多様な子どもたちの実態に適切に対応するのが難しく、授業が落ち着いてじっくりと取り組めない姿も見られた。個々の児童の不安な気持ちに担任ひとりでは応えられないこともあり、子どもたちの「学校が楽しい」という気持ちを高めることができなかったことに責任を感じている。まずは授業の充実、そして、友達と仲良く楽しく生活が送れるようにしていきたい。	
	自主・自立を育てる	児童会・係活動		「自分たちの学校を自分たちでより良くする」という視点を大事にした活動を計画・実践しているか。		アイウエ		○					児童会活動が忙しかったが、子どもたちがとても充実した生活を送ることができて、良い川西小学校の雰囲気を作ることができたと思う。児童会を通しての活動が多く、子ども達も「やるぞ」という気持ちが入っていた。	
		家庭学習の充実		「紡ぐ」や「自主学習ウィーク」を活用した、計画的な家庭学習の習慣化が図られているか。		アイウエ			○				授業の中でもすぐに「何を書けばいいかわからない」という声があるので、例をあげるなど考えていきたい。自主学習WEEKの取り組み方もやっつけ作業にならないように、今後どのようにしていくか考えていきたい。	
メディアとの関わり		メディアの利活用を計画的に行うとともに、適切な関わり方について考え、生かしているか。		アイウエオ			○				4年生では好きな戦闘機のビデオを見て感想を書き、人前で進んで発表していた。その際もクロームブックをツールとして活用していた。教科を問わず、クロームブックを道具の一つとして活用できるようになってきた。			
学校運営	連地携域	コミュニティースクールの充実	学校運営協議会やコーディネーターと連携し、地域やPTAとの協力・支援を図ることができたか。		アイエオ		○					収穫祭については田植えから稲刈り、はぜ干し、餅つきまで地域の人と一緒に作業して米作りの文化を学び、自分たちで育てた米の味を楽しむことができたことは、地域と共にある学校づくりと思っている。今後も是非継続してほしい。大勢の地域の方が、機会に応じて関わっていると思います。		
	研修	UD化を視点とした授業力の向上	自己課題を改善するため、自己評価や児童からの評価を活かし、日々の授業改善を行っているか。		アイウ			○				非違行為防止研修等、先生方が継続して研修を重ねていることがわかった。人権のお話に来ていただいたり、薬物乱用防止教室の講師で来ていただいたりするなど、地域の方から学ぶ機会を何回も設けた。		
	組織	情報の共有および全職員による指導	子どもたちの状況にかかわる情報をチームで共有し、同一歩調で対応できているか。		アイ			○				今年度は、保護者の学習ボランティアに多くの方が協力してくださった。これからも、家庭・地域との連携を密にしながら、全校児童の成長を全職員で支え、見守る体制を継続していきたい。また、地域の支援者との連携もさらに深めていきたい。		
					○評価方法 ア：教師自身による評価 イ：学校長による評価 ウ：児童アンケート エ：保護者アンケート オ：学校運営協議会委員アンケート									
					○評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった									